

No.	質問		川ごみサミット内での回答、チャット内での返信	後日対応
1	海や川のごみになる前に、 道路に落ちているごみを拾う ということが大切かと思う。行政は邪魔にならなければ対応しにくい点があるかと思うが、 生活ごみの散乱 についてどのような方向を示しているのか。河川までごみがいけないと問題と認識されないのか。	⇒ 国交省 林さまより	道路だけでなく、都市を含めた生活で発生したごみは、河川同様、国交省では都市も道路も、また各自治体でも、サポートプログラムのようなものが設定されており、河川同様それぞれで対応している。	
2	「この米は プラスチック被覆肥料 を使用しており ません 」という表示を付けた米の販売があってもいいのではないかと、可能なのが農協なのかは分かりませんが。	⇒ 農林水産省 栗山さまより	(質問紹介のみ) ご質問のとおりご指摘のような手法により販売を促進するという方法も一つの考え方ではあると思いますが、被覆肥料の役割として効率的な生産に寄与してきた側面もあり、被覆肥料を使用しない場合、一般で販売されているお米より高い値段で販売される可能性があります。 この点を念頭に、ご指摘のような表示による点を消費者の皆様にもメリットとして感じてもらえるような環境の構築や理解醸成が必要になっていくであろうと考えております。 ご参考とはなりますが、被覆肥料につきましては、環境に負荷を与えている一方、地球温暖化対策への貢献や農産物の効率的な生産など、別の観点にて重要な役割を担ってきた側面もあり、この点も考慮しつつプラスチックの流出を削減していく必要があると考えております。 当方といたしましては、国内の農産物生産を維持しつつプラスチックの流出防止対策を進めるとともに、プラスチック流出対策の現状について農家や消費者の皆様への情報発信を積極的に推進してまいりたいと考えております。	
		(参考)	(参考) 福島県只見のグループが作っているコメ焼酎(“ねっか”)は、ノンプラ肥料を使っていることをPRしています。 https://nekka.jp/community/100.html このようなPRを生産者さんが行って、私たち消費者も選べるようになってよいですね	
3	海洋へのごみ流出対策として、河川へ流れ出したゴミを 海洋に流れ込む前に対策を行う観点も必要なのではないか ？と思うが、その様な取り組みや考え方へのご意見等があるか？	⇒ 国交省 林さまより	通常高水敷に残されたごみをパトロール時に回収しており、それらが出水により川に流れ込んだ場合、出水後に回収することで対応している。 海洋に流れないよう、河口部にバリアのようなものを設定するという対策も考えられると思いますが、現時点で、緊急的に物理的な対応が必要な直轄河川は見つからないという認識である。	
3-2	弊社マリン事業視点から、 企業として取り組める課題 の調査を行っており、現状の課題認識や取組事例があるのか？という意図で質問した。今後ともよろしく。	⇒ 環境省 海洋プラスチック汚染対策室より	プラスチックに関する様々な取り組みを推進しているプラスチックスマートのHP(https://plastics-smart.env.go.jp/)にて企業や団体・自治体の取り組み事例を紹介しておりますので、ご参考いただければと思います。	

		⇒ 国交省 林さま より	<p>河川へのごみの不法投棄や流域から河川に流れてくるゴミは依然として多く、河川管理の妨げや河川景観の劣化等を引き起こしています。</p> <p>生態系への影響の度合いは明確ではありませんが、プラスチックゴミ等に起因した河川や海域のマイクロプラスチック、界面活性剤等として使用されてきたPFAS、陸域で使用される農薬についても、河川を含めた生態系への影響の可能性が指摘されています。</p> <p>これに対し、ネイチャーポジティブの動き等を背景に、河川において環境保全活動を行っている民間企業等が増えています。</p> <p>○生物の生息・生育・繁殖の場としてもふさわしい河川整備及び流域全体としての生態系ネットワークのあり方検討会 第1回 資料2 社会経済情勢等の変化 P28以降参照 https://www.mlit.go.jp/river/shinngikai_blog/seitai_network/dai01kai/7_shiryou2.pdf</p>
4	吉野川河口で大量の漂着ごみが干潟の生物の生息環境を脅かしているの、市民レベルで悪戦苦闘しています。生物環境と漂着ゴミの関係の仕組み対策の課題として 現場の市民の声を聞いていただきたいと思います。とくしま自然観察の会 井口		(質問紹介のみ)
5	街ごみ拾いでは、河川ごみのボランティアに比べて参加者したいという意欲を高めることが難しいと感じる。河川は、魚を守るためや自然観察したいという気持ちが動機になりますが、それを町にも広げるには〇〇のためという、ボランティア精神を喚起させるものが何かないか。自治体がボランティアが集めたごみの回収を手助けしたり、自治体がボランティアを表彰するなど、ボランティアしたいという思いを呼び起こすいいアイデアがあれば教えてほしい。	⇒ チャット内での回答	<p>熊坂勝則: ちなみに、私の住む白鷹町では、衛生組合連合会(区長会)がゴミ拾いボランティア団体、町内会に対し、年3回活動すれば活動奨励金5000円年度末に支給。ゴミ袋は必要枚数支給。回収ゴミは、事前連絡をしてから、近くの公民館においておけば後日提携しているシルバー人材センターで回収する。ご参考までに。</p> <p>yuka kanda: 活動奨励金は良い取り組みですね。でも5000円だと少ない?それくらいの金額なのか。</p> <p>熊坂勝則: 活動奨励金は各町内会の参加者に対しての飲み物代なのかなと推測する。ボランティア団体にも同じ対応。昨年度は約20団体に対して支払われたようだ。その中でも実際はボランティア団体は2~3団体くらい。</p> <p>AASHA 上垣: 活動レポートの写真をアップすれば報酬が支払われる、MeGo(アマゾンギフト)やCleanify(暗号資産)などのアプリを使って活動している。個人レベルで使用可能。</p> <p>AASHA 上垣: 今後、個人のライフスタイルの変化によってプラごみのポイ捨てを抑制するアプリの開発で貢献を考えている。ハードルは高いですが実現したい。</p> <p>使い捨てプラ容器以外での食前食後の写真をスマホで撮影してアップすれば暗号資産トークンが配布されるアプリ ・プラごみ削減 ・フードロス防止</p>

6	<p>今夏、山形県内の五つの自治体にまたがっている国道348号線沿いのゴミ拾いを企画して、回収ゴミの処理を各自治体に確認したところ、対応がまちまち。平日に担当部署に出向き、ごみ処理費用無料となる書類をもらってこなければならないところもあった。</p> <p>そこで、市民団体等を登録制にして、事前連絡をしたうえで、自治体指定の施設(場所)へ回収ゴミを持っていくだけで完結する仕組みづくりを考えますが、皆様のご意見やうまくいっている地域の事例を知りたい。</p>		(参考)	<p>地方自治体での取り組みを期待し(質問紹介のみ)</p>	
6-2	<p>私も自治体のごみ回収の手助けをするなど連携した仕組みができなかを望んでおり先行事例を探している。ぜひ教えてほしい。</p>			<p>同上</p>	
7	<p>山梨の大学の先生の提案は、「環境診断マップ」ですね。環境庁時代に島津康男先生の指導で行われたものです。今の環境省の人は知らないのか。青空財団の冊子を参考に、今一度注目を。</p>	⇒	<p>yuka kanda: チャット</p>	<p>私の住んでいる地域では、自治会でのごみは回収してくれますが、それ以外のボランティアはなかなか回収に応じてくれない。</p>	
		⇒	<p>金子博 (パートナーシップオフィス)より</p>	<p>(ご意見)</p> <p>風間先生が紹介した水環境マップ2.0は、2024年度の河川基金助成事業としてNPO法人パートナーシップオフィスが関係者と共に取組んだものです。</p> <p>目的は、河川管理者でもある国土交通省に対し、一歩踏み出した川ごみ対策や市民参加型水質調査の持続に向けての責務を果たしてほしい、との意図が含まれていますし、担当者の方にもそのように伝えていきます。市民だけが頑張ることでは流域環境の改善、保全はできないとの認識を前提に、環境診断マップの考え方も相違は無いと考えています。</p> <p>風間先生を招いてのオンラインセミナーを企画していますので、ぜひご参加いただき、ご意見などお願いします。</p>	